

8 参考

用語解説（50音順）

用 語	解 説
イニシャルコスト	施設を初期建設するために必要な費用。
インフラ資産	公共施設のうち、道路、橋りょう、上・下水道など、市民生活を支える基盤となるもので、安全性を確保する観点から継続的な維持保全が必要なもの。
J I S 規格	日本工業規格というもので、我が国の工業標準化の促進を目的とする工業標準化法（昭和 24 年）に基づき制定。
データベース技術	施設の維持保全に当たって必要な情報を蓄積、検索、抽出する技術。
ハコモノ資産	公共施設のうち、インフラ資産以外の施設で、文化施設、スポーツ施設、福祉施設など、行政サービスを提供するための機能が付与されたもの。
P F I	民間資金等活用事業（Private Finance Initiative）のことであり、公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金や経営能力及び技術的能力を活用し、公共サービスの提供を民間主導で実施する手法。
P D C A サイクル	維持保全に当たって、計画等を立て（Plan）、実施（Do）し、実施後に結果を評価（Check）し、改善（Action）し、次の計画等に反映させていくという一連の取組。
P P P	官民協働（Public-Private Partnership）のことであり、公共サービスの提供を指定管理者制度や民間委託などを含めた公共と民間の連携により実施する手法。
非破壊検査技術	施設の劣化や損傷の状況把握を超音波や赤外線照査などにより、対象を壊さずに検査、検出する技術。
メンテナンスサイクル	施設の維持保全に当たって、点検等の結果に基づき、必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的・効果的に実施するとともに、これらの取組を通じて得られた施設の状態や対策履歴等の情報を記録し、次期点検等に活用する一連の取組。
モニタリング技術	施設の劣化や損傷の状況を把握する技術。
ライフサイクルコスト	施設の建設から、補修等の維持保全、廃止までの総費用。初期建設費等のイニシャルコストと維持保全等に係るランニングコストにより構成。
ランニングコスト	施設の建設後、その機能を維持していくために必要な費用。

